

令和7年度 第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	令和8年2月12日 沖縄県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	天方 徹 伊東 孝 山岡 賢 横井 理人 喜友名 裕 米須 美奈子 野原 直子 田港 華子	
審議対象期間	令和7年8月1日 ~ 令和7年11月30日	
再苦情処理件数	件数 0件	
入札審議内容及び件数	建設工事	建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理業務
	総件数 232件	総件数 135件
①一般競争入札	137件	54件
②総合評価	32件	18件
③指名競争入札	50件	54件
④随意契約	13件	9件
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり (総質問件数5件)	別紙のとおり
委員会による意見	なし	
その他の意見	なし	

※抽出事案:別紙参照

**令和7年度第3回 沖縄県公共工事入札契約適正化委員会
抽出事案一覧表**

1. 建設工事											
	工事名	工事種別	入札方式	入札(開札)日	入札(見積)参加者数	予定価格(税込・円)	調査基準価格・最低制限価格(税込・円)	落札価格(税込・円)	落札者	落札率(%)	担当部署
①	城間第2地区貯水池工事(R7-1)	土木一式工事	一般競争入札	R7.9.18	1	119,357,700	111,571,274	119,350,000	株式会社 丸憲	99.9	農林水産部 中部農林土木事務所
②	平和創造の森公園橋梁外壁修繕工事(R7)	建築一式工事	一般競争入札	R7.8.5	3	9,208,100	6,629,832	7,645,000	株式会社 沖縄装美工業	83.0	環境部 環境再生課
③	3系返送汚泥ポンプインバータ取替工事(具志川)(R7)	電気工事	一般競争入札	R7.10.10	1	8,745,000	8,345,796	8,745,000	有限会社 沖縄小堀電機	100.0	土木建築部 下水道事務所
④	安和与那川流路工整備工事(R7)	土木工事	総合評価方式	R7.8.27	2	52,591,000	48,619,452	52,580,000	有限会社 丸崎建設	99.9	土木建築部 北部土木事務所
⑤	中部管内河川伐採工事(R7-2)	造園工事	指名競争入札	R7.9.30	2	20,383,000	19,051,399	20,350,000	株式会社 沖縄ガーデン	99.8	土木建築部 中部土木事務所
⑥	中部管内河川伐採工事(R7-4)	造園工事	指名競争入札	R7.10.7	3	26,444,000	24,909,475	26,400,000	有限会社 海邦造園	99.8	土木建築部 中部土木事務所
⑦	県営真喜良第二団地建替工事(第1期・エレベーター)	機械器具設置工事	随意契約	R7.8.22	1	46,126,000	—	45,096,400	沖縄菱電ビルシステム 株式会社	97.7	土木建築部 施設建築課

2. 建設工事に係る測量、調査、設計及び工事監理の業務											
	業務名	業務種別	入札方式	入札(開札)日	入札(見積)参加者数	予定価格(税込・円)	調査基準価格・最低制限価格(税込・円)	落札価格(税込・円)	落札者	落札率(%)	担当部署
⑧	海岸(沖合施設)長寿命化計画策定業務委託(R7-1)	土木関係コンサル	一般競争入札	R7.8.21	6	16,203,000	12,845,792	15,400,000	株式会社 沖縄建設技研	95.0	土木建築部 海岸防災課
⑨	海岸(沖合施設)長寿命化計画策定業務委託(R7-2)	土木関係コンサル	一般競争入札	R7.8.21	5	12,540,000	9,932,188	12,430,000	株式会社 ウイング総合設計	99.1	土木建築部 海岸防災課
⑩	河川・砂防事業現場技術業務委託(R7-9)	土木関係コンサル	一般競争入札	R7.9.10	2	14,234,000	11,538,054	13,970,000	株式会社 ark staff	98.1	土木建築部 南部土木事務所

令和7年度第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p>Q 1 案件①「城間第2地区貯水池工事（R7-1）」について (1)当初入札時、入札参加資格をA等級としたが、応札がなかったことから、今回の入札では等級を特A・A・Bと広げたことにより落札に至ったのか。 (2)落札者は本社が那覇市だが、南大東島にも事務所があるのか。 (3)地元の業者2者のうち1者のみが応札した理由に心当たりはあるか。</p>	<p>A 1 (1)そのとおり (2)そのとおり。 (3)他1者は市町村の工事受注により、技術者がいなかったものと考えられる。</p>
<p>Q 2 案件③「3系返送汚泥ポンプインバータ取替工事（具志川）（R7）」について (1)3者から徴収した参考見積について、積算基準が公表されているのであれば、3者の見積内訳が同じになると思われるが、3者とも異なるのはなぜか。 (2)既存設備メーカーの代理店が落札者であるが、一般競争入札で落札率が100%なのはなぜか。 (3)機器の故障が判明してどれくらいで工事に入るのか。</p>	<p>A 2 (1)公表されている積算基準を参考に、各業者が必要な金額を調整のうえ積算していると考ええる。 (2)修繕的な特殊な工事であり、主要な費用である機器費及び労務費については、見積を採用していることも一因であると考ええる。また、入札金額は、端数調整のため参考見積の金額に少し上乘せされており、その結果、今回は予定価格と同額になったものと考えられる。 (3)その都度、対応している。 下水道の汚水を処理するプラントは、24時間365日停止できない設備のため、ポンプ類は二重化しており、一方に故障が生じた場合でも運転を停止することなく修繕を行っている。また、予防保全として、耐用年数が近い機器から計画的に更新を実施している。</p>

Q 3

案件④「安和与那川流路工整備工事（R7）」について

(1)総合評価の自己評価において、得点が一番低いところが、予定価格と1万円しか変わらない金額で落札（落札率99.9%）しているが、どういうことか。

(2)入札に参加した2者のうち、1者が証明資料の提出を辞退した理由は。

Q 4

案件⑦「県営真喜良第二団地建替工事（第1期・エレベーター）」について

(1)見積書の労務費の金額が0円となっている業者がいるが、どのような取扱いをしているのか。

(2)改正建設業法が令和7年12月から施行されているが、業者から提出された内訳書等に記載された労務費への対応について聞きたい。

Q 5

案件⑧「海岸（沖合施設）長寿命化計画策定業務委託（R7-1）」及び案件⑨「海岸（沖合施設）長寿命化計画策定業務委託（R7-2）」について

⑧の応札者6者のうち、5者は近い金額で応札しているが、1者は大分低い金額で応札し、失格となっている。⑨も同様に1者を除き他の応札者は近い金額で応札し、⑧と同じ1者が大

A 3

(1)入札への参加表明として、業者が自己評価した評価書の提出が5者からあり、実際に入札参加した者は2者であった。その2者へ自己評価の証明資料の提出を依頼したところ1者が辞退し、結果として自己評価の得点が一番低い業者が落札した。また、予定価格については、国が公表している積算基準、県が公表している単価表等に基づき積算しています。入札金額については、各業者の自社の手持ち工事の状況や保有機械等を勘案して積算していると思われますので、落札率が99.9%となったのは、積算能力の向上によるものだと考えます。

(2)業者が提出した入札後の辞退届では、他工事との調整が付かなかつたためとの理由であった。

A 4

(1)見積書を提出してもらった業者のうち、1者の機器費等を基にして行っている。

(2)法の施行を受け、今後、労務費についても確認していくことになるので、注意していきたい。

A 5

失格となった1者の見積書を確認したところ、見積りの内容に調整額という項目があり、その金額が極端にマイナスとなっていた。ただし、その理由は不明です。

以上

分低い金額で応札し、失格
となっている。低い金額で
応札する理由があるのか。